

## NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成28年3月16日

T B 1 5 - 0 5 7 5

### iPS 細胞から作製した膵臓細胞(膵β細胞) に関する 研究成果の発表について

タカラバイオ株式会社は、ヒト iPS 細胞由来膵β細胞に関する研究成果を第15回日本再生医療学会総会(本年3月17日~19日開催、大阪国際会議場)の当社展示ブース(大阪国際会議場3階、小間番号S-6)および、CiRA/ISSCR 2016 International Symposia(京都大学iPS細胞研究所/国際幹細胞学会国際合同シンポジウム、本年3月22日~24日開催、京都大学)にて発表いたします。

膵β細胞は、膵臓の膵島細胞に存在する細胞で、血糖値に応じてインスリンを血中に分泌する働きをします。この膵β細胞の働きが弱くなり、インスリンの分泌量が減ると、糖尿病につながるということが知られています。当社の子会社である旧 Cellartis 社(現 Takara Bio Europe AB 社)は、iPS 細胞から作製した膵β細胞を糖尿病の機能解明などの研究分野や糖尿病治療薬の創薬分野に利用するため、その製品化を進めてまいりました。現在、本製品のテストサンプルを研究者に提供し外部評価を実施しており、これら評価結果をふまえて、近日中に本製品の発売を予定しています。

当社は、幹細胞研究分野を注力分野と位置づけ、当該研究領域を支援する製品・サービスを開発し、事業拡大を図ってまいります。

#### 当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先  
タカラバイオ株式会社  
事業開発部  
Tel 077-565-6970

<参考資料>

【発表概要】

学会名	CiRA/ISSCR 2016 International Symposia (京都大学 iPS 細胞研究所 / 国際幹細胞学会国際合同シンポジウム)
演題名	Beta-cells generated from human pluripotent stem cells to be used in <i>in vivo</i> and <i>in vitro</i> applications (参考邦訳演題: ヒト iPS 細胞由来膵β細胞の有用性)
日時	3月22日(火) 17:15~18:15
セッション名	ポスターセッション1
場所	京都大学百周年時計台記念館